

GFC 関連の今後の予定・国内外の動向について

令和 7 年 3 月 28 日

環境省環境保健部化学物質安全課

1. 国内実施計画について

GFC 国内実施計画策定等に関する今後の想定スケジュールは以下のとおり。

項目	期間	補足
資料 1、2、4 へのコメント/修正リクエスト	4 月 4 日 (金) 〆切	連絡会議事務局にメールにて提出
資料 1、2、4 の最終化	4 月第 3 週中	
報道発表、環境省 HP への公開	4 月第 4 週中	
GFC 事務局提出	4 月中	
GFC に関する公開作業部会第 1 回会合 (OEWG1.0) ※機会に応じて適宜紹介	6/24- 27	

2. GFC 関連の国内外動向について

昨年 12 月に開催された第 3 回連絡会議以降の GFC 関連動向（国内会合及び UNEP 主催オンライン会合等）について報告する。

2-1. 第 21 回「化学物質と環境に関する政策対話」

政策対話は、市民、労働者、事業者、行政、学識経験者等の様々な主体から、化学物質と環境に関する意見交換ならびに合意形成を目指す場として平成 24 年 3 月に設置され、環境省が事務局となり毎年 2 回開催されている。

第 21 回政策対話（2 月 7 日開催・ハイブリッド形式）では、国立環境研究所の五箇室長を座長として「生物多様性と化学物質管理」をテーマに、事前アンケートの結果を中心に議論がされた。また、メンバー 3 名から、生物多様性に関連した取組について発表いただき、活発な意見交換が行われた（議事録 URL：<https://www.env.go.jp/content/000298316.pdf>）。

2-2. OEWG へ向けた UNEP 及び関連機関が主催する会合等

(1) 測定枠組み・指標策定

GFC における個別指標の検討および測定枠組みの最終化を目的に、「測定枠組

みと指標に関する臨時公開作業グループ」による検討が進んでいる。第4回会合が2月12日にオンライン開催され、以下の報告がなされた。

- ・ WS3：テーマ別/分野特化型の指標同定について、アンケートにより収集・整理された新規指標候補リストが提示された。
- ・ GFC 指標を選定する際の基準（①データの管理者がいること、②定期的な更新がなされること（測定の持続可能性確保のため）、③データへのアクセスが容易でありデータ収集への関係者の参加が可能なこと、④標準化された方法論により比較可能なデータであること）が提示された。この基準を踏まえて今後既存指標・提案された指標等の評価がなされる。

（2）実施計画

IOMC(Inter-Organization Programme for the Sound Management of Chemicals：化学物質適正管理のための組織間プログラム)とその加盟組織は、GFC 実施プログラム(または計画)を支援するため、ウェビナーシリーズの開催、グローバル調査、ディスカッション文書作成などの活動を行っている。

2月中旬、IOMC はサーベイ調査「化学物質管理の法律と制度の状況の評価及び GFC 実施に関する将来的な主要優先事項に関するステークホルダーからの知見収集」を GFC 事務局と共同で実施した。環境省は「国内実施計画（案）」に沿った内容で回答を提出した。

(以上)